

日本公認会計士協会

四国会ニュース

2023 新春号(第81号)



目 次

年頭所感

2023年頭にあたって

日本公認会計士協会四国会 会長 久保 誉一 3

持続可能社会への公認会計士の貢献

日本公認会計士協会 会長 茂木 哲也 4

新年のごあいさつ

四国財務局長 米田 博文 5

卯年を迎えて 6

新入会員の自己紹介 9

HAPPY WEDDING 10

役員会だより 11

委員会だより 15

準会員会四国分会だより 16

補習所だより 16

トピックス 16

研修会実施概要、開催予定概要 19

四国会行事予定 22

寄贈等新刊図書一覧 22

会員の状況 23

慶弔 23

異動一覧 24

「法定監査業務への従事状況」の報告について 25

履修結果を申告しましょう 27

あとかき 28

第44回研究大会 研究発表の募集について 29



2023年頭にあたって

日本公認会計士協会四国会
会長 久保 誉一

新年おめでとうございます。

皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、協会の新執行部のスタートの年であり、四国会の会務運営におきましては不慣れな点があったかと思いますが、皆様方のご理解とご協力の下で無事に過ごせましたことを、まずは御礼申し上げます。

昨年はコロナウイルスによる行動自粛も秋以降は緩和され、国内及び海外への旅行や渡航も可能となり、また各種懇親会等も感染に留意しながらではありますが徐々に開催され、少しずつ人々が動き始めた印象があります。私自身も国内の出張も増え、海外出張の機会もありました。実際に現地を訪問して、現場を見るとともに、現場の人と対話することで得られる情報の質の高さと量の多さを改めて感じました。また、年末には各種懇親会に出席して交流を図りましたが、大勢による対面でのコミュニケーションの楽しさを改めて感じました。コロナ禍が収まり、通常の生活がいち早く戻ることを今年も願っています。

さて、茂木新会長の「信頼の力を基礎に国民経済の健全な発展に寄与し、安心で活力に満ちた豊かな未来を創ります」の経営方針の下、各種施策を今年も進めてまいります。不確実性が高まる社会となり、資本市場及び利害関係者からの信頼できる情報への要求は増えています。公認会計士が監査人、作成者、アドバイザーなど多様な関わり

方で情報への信頼性を創造し、安心で活力に満ちた社会の実現に貢献していくことへの期待は、これからも益々高まるものと思います。また、会計士業界の喫緊の重要課題として、「改正公認会計士法の施行に向けた取組」「ディスクロージャー制度」が掲げられています。前者は、資本市場の信頼性の確保のための方策、公認会計士の能力発揮・能力向上に向けた環境整備に係るものです。後者は、サステナビリティ等の非財務情報開示の充実、四半期開示等の効率化に係るものです。いずれも大変重要な課題です。

四国会としても、この経営方針の下で、会員の皆様への迅速な情報提供と有意義な情報交換ができる機会を増やしていくとともに、さらには地域のステークホルダーの皆様への適切な情報発信と信頼関係の構築にも努めていきたいと思っています。また、昨年に引き続き、高校、大学への職業紹介を行い、より多くの人たちが公認会計士を目指すような取組をしてまいります。

会員の皆様には、引き続き四国会会務へのご理解とご協力、ご参加をお願いしますとともに、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年も皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。





持続可能社会への公認会計士の貢献

日本公認会計士協会
会長 茂木 哲也

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
平素より会務にご理解ご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

2022年は、15年ぶりに公認会計士法が改正されるなど、公認会計士業界において大きな転換点となる1年となりました。

当協会では、新タグライン「信頼の力を未来へ」の下、公認会計士が国民経済の健全な発展に寄与し、安心して活力に満ちた豊かな未来の創造に貢献するべく、持続可能な社会の実現に向けた様々な施策に取り組んでいます。年頭に当たり、今後の展望と当協会の取組を述べさせていただきます。

1. サステナビリティに関する取組

サステナビリティ情報の開示・保証のニーズが高まる中、公認会計士は、社会からの期待に応えるべく、財務諸表監査とともにサステナビリティ保証の領域においても重要な役割を担う必要があります。

また、企業におけるサステナビリティ経営の推進は、サプライチェーン全体での取組として進められています。公認会計士には、大企業だけでなく地域経済を支える中小企業に対してもサステナビリティ経営を啓発することが期待されており、地域会を中心として会員の皆様が果たす役割は非常に重要となります。

当協会は、国内外の関係者や会員の皆様と共に、サステナビリティに関する取組を推進し、持続可能な社会の実現に貢献します。

2. デジタルトランスフォーメーション (DX) を通じたイノベーションの推進

近年、DXが急速に進展する中で、公認会計士も変化に順応し、社会のイノベーション推進に参画する必要があります。

例えば、デジタルインボイスの活用については、2023年10月のインボイス制度導入を見据えた対応に留まらず、業務改革や持続的な成長の実現に向

けた取組として期待されています。公認会計士は、DXの観点も踏まえて企業・組織等を幅広く支援し、デジタル化という社会課題の解決に貢献します。

また、監査業務においてもデジタル技術の活用が進んでおり、より深度ある監査により、情報の信頼性確保に貢献することが期待されています。当協会はITを活用した最新技術の研究など、未来に向けた取組を進めていきます。

3. 国民全体の会計リテラシーの向上

当協会はこれまで、社会貢献活動の一環として「ハロー！会計」等を通じ会計基礎教育の推進に取り組んできました。これらの活動が実を結び、昨年の公認会計士法改正により、会計教育活動の推進が協会の事業に位置づけられました。会計リテラシーは、社会の様々な場面やライフステージで必要なものであり、多くの方に会計への興味を持っていただくことが第一歩となります。地域の皆様との協力を図りながら、一層活動を拡大・推進してまいります。

4. おわりに

公認会計士制度は今年、制定75周年を迎えます。

当協会は、公認会計士が社会において重要な役割を果たしていることを広く発信するとともに、開示制度の一層の充実に向けて、多くのステークホルダーと積極的に対話し、意見発信を行ってまいります。また、会員の皆様がより一層活躍できるよう、制度創設100周年に向けて長期的な視点を持って諸施策に取り組んでまいります。

会員の皆様におかれましても、変化の激しい時代において、変化に適応した資質の向上に向けて日々研鑽に励んでいただき、これからも社会に信頼を付与し、持続可能な社会の実現に貢献されることを期待しています。

末筆ながら、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

四国財務局長 米田 博文

あけましておめでとうございます。

信頼できる財務情報は、経済活動に不可欠なものであり、グローバル化する企業活動においては、世界共通言語である会計の重要性がますます高まっています。日本公認会計士協会四国会の会員の皆様におかれましては、監査及び会計の専門家として、財務書類等の内容を検証し、その信頼性の確保に努めることで、経済社会の健全な発展に寄与していただいておりますことに敬意を表しますとともに、日頃から四国財務局の業務運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新年を迎えるに当たり、企業会計・監査制度、公認会計士制度を巡る昨今の動向と今後の展望について申し上げます。

まず初めに、有価証券報告書における非財務情報開示の充実についてです。政府は、「新しい資本主義」のコンセプトの下、官民が連携して、気候変動や格差といった社会課題を成長のエンジンにして、持続可能な経済をつくることに取り組んでおり、その一環として、企業の情報開示について、「人材育成方針」、「男女間賃金格差」、「女性管理職比率」などの人的資本・多様性に関する情報や、近年とりわけ投資家の注目を集めている、気候変動対応などのサステナビリティに関する情報を、有価証券報告書の記載事項として位置付けることとしております。

既に人的資本・多様性に関する情報等の開示に関する内閣府令の改正のため、パブリックコメントを実施したところですが、今後は、四半期報告書を廃止し、四半期決算短信に一本化するための

具体策についても議論し、関連法令の改正に向けた対応を進めてまいります。

続いて、コーポレートガバナンス改革についてです。この改革については、独立社外取締役の選任や指名委員会・報酬委員会の設置が進むなど、進展が見られるところです。今後は更に改革の趣旨に沿った実質的な対応が進むことに期待が寄せられています。そこで、企業の取組状況をフォローアップし、課題を整理するとともに、国内外の投資家からも意見を聞く場を設けるなど、改革を実質的に推し進めるための方策をとりまとめてまいります。

また、これに関連して会計監査の観点からは、上場会社監査を担う監査法人に対して規模等に応じた実効性のある規律を求めるため、コーポレートガバナンス・コード改訂に向けた具体的な検討を行っております。

引き続き、公認会計士の皆様には、市場からの信頼のもと、高い倫理観と専門的知見を社会でより一層幅広く発揮していただきたいと思っております。四国財務局といたしましても様々な機会を通じて公認会計士制度や会計士の業務内容等について広報活動に努め、皆様の活動を支援してまいりたいと思っております。

末筆になりましたが、日本公認会計士協会四国会のますますのご発展ならびに会員の皆様のご繁栄、ご発展を心からお祈りいたしまして、新年の挨拶といたします。

卯年を迎えて



対岸の花

徳島県部会
長地 孝夫

東京の大手監査法人を依頼退職して、出身地である徳島県へ帰ってきた。28歳の時である。個人事務所を開設して、今年で早44年目になる。最初は徳島市の中心部で司法書士事務所を開業していた叔父の紹介で叔父の事務所の隣の貸しビルの2階を借りた。数年後、近くに徳島で初めてとなる分譲マンションが建った。住宅金融公庫の融資付きマンションを親に頭金を援助してもらい1階を購入してそこに移転した。住宅用の物件を事務所に使用していたことに住宅金融公庫からクレームがついたので、民間銀行で融資を受けて、すぐに返済したが、やがて事務所として手狭になってきた。近くに丁度使わなくなっていた顧問先の2階建ての仏壇展示場があったため、事務所に改修して10年間ほど使っていた。そのころ廃業した仏壇製造会社の跡地の一部を銀行のあっせんで近くの川沿いに100坪ほど購入して2階建ての自社物件を新築して、もう20年弱になる。広さ、役所との距離等事務所の全てに満足している。特に気に入っているのが、2階の所長室からの眺めである。秋から冬にかけて見られる鷹の渡りは感動的だし風のそよぎ、野鳥のさえずりも心地良い。徳島には数多くの河川が流れている。現在の事務所は住吉川川沿いにある、海水と淡水の混ざりあう汽水域であるこの川がボラの生息する清流であることはもとより対岸の御家庭の庭によく手入れされた四季折々の花々が咲き乱れるのも楽しみの1つである。特に確定申告の時期には、奈良・東大寺

のお水取りが始まると、対岸の庭に木蓮の花が咲くのと、事務所の確定申告業務が完了することのいずれが早いかを競争するのが毎年のささやかな楽しみにしている。古来稀である古稀を過ぎ今年には満72歳になる。数年前に脳内出血をして以降、体力の衰えをとみに感じている今日この頃である。さてさて今年はいくつになるだろうか？

時の流れの中で

高知県部会
寺田 覚

12年前に還暦を迎えた時、2つの目標を立てた。1つは、“札所巡り”、もう1つは“論語の研究”であった。結果から言えば、2つとも頓挫してしまった。原因は、仏像と般若心経それに自分の姿勢にあった。

札所には、本殿と大師堂があり、本殿にはご本尊（仏像）が祭られている。四国八十八ヶ所霊場には16種類92のご本尊がある。足し算が合わないのは、37番札所岩本寺が、不動明王等5本尊を擁しているからだ。ご本尊の中で最も多いのが薬師如来で24体、病に悩むお遍路さんたちには頼りになるご本尊だ。如来は物を手に持たないのが一般的だが、薬師如来は例外で、左手に薬壺を持っている。88番札所大窪寺の薬師如来は、法螺貝だ。法螺貝！ご本尊（仏像）へ興味が湧く。仏像は如来・菩薩等5種類、卯年生まれの守護神は文殊菩薩である。

霊場では、どこからともなく念仏の声が聞こえ

てくる。“般若心経”だ。お釈迦様の教えを266文字（本文のみ）に集約したもの。若かりし時、深夜営業のお店で、鍋焼きうどんを食べた。お酒の後で格別の味であった。華やかさも気にいった。お店の名前は「色即是空」。『名は体を表す』と一人悦に入っていた。間違いであった。仏教では、かたちのある物を色（シキ）と言う。“般若心経”への興味が湧く。また脱線だ、大窪寺には辿り着くだろうか。笑う！

さて、“論語の研究”である。日本資本主義の父と呼ばれた渋沢栄一への傾倒による。彼を理解するには、『論語』の知識が必要だが、なかなか溶け込めない。だれにでも理解できるような書物を集め、徐々に理解を深めていくことにした。タイトルに『論語』あるいは『孔子』という文字が入った書物を買ひあさった。その結果、約千冊の蔵書となった。だが、相変わらず“論語読みの論語知らず”の状態が続く。本は棚に置いたまま。集めるだけで満足し、目は通していない！

「すべて世の中の事は、もうこれで満足だという時は、すなわち衰える時である。」渋沢栄一100の言葉より。

最後になりましたが、この1年、四国会の皆様にご加護がありますように。

いつの間にか還暦!!

愛媛県部会

矢野 和弘

あけましておめでとうございます。

遠い将来のここのように思っていたのに、自覚があまりないなか、いつの間にか還暦を迎える歳になってしまいました。

最近では定年延長で6歳を過ぎても働き続ける人が増えていますが、その前まで6歳は仕事引退の年齢でした。還暦を迎える私とはいうと、最近でもなぜか午前2時頃事務所から帰宅することがあり、午後11時帰りなんてまあまああり、この点

は若い頃から変わらない（もっとも監査法人にいたときはもっと大変でしたが（笑。）。）ので、体力的には、還暦の自覚症状があまりありません。ただ、さすがに目が疲れやすくなったことと、先日「坐骨神経痛」と言われたことから歳をとったなと感じ始めました。こんな話をしている時点でジジイかもしれませんが。愛媛県部会の大御所の某I先生は、70歳後半にも関わらず、ゴルフの年間回数が80回とか90回に達したらしく、私もせめてゴルフくらいは健康のためにと考え、2022年は59ラウンドと頑張りました。

こんな歳になってもこんなに働いているとは、会計士を目指した頃の若き私は予想していなかったのではないかと思います。また、監査法人を退職して、ましてや今治の田舎に拠点を置き、零細個人事務所を主宰する私が、こんな歳で愛媛県部会長や本部役員までなんでやっているんだろうと自分でも不思議です。ただ、役職を引き受けると覚悟を決めたからには、前向きに楽しんで会務に取り組もうと思っています。しかし、目の前にゴルフというエンジンをぶら下げてもらわないと走り続けられないかもしれません（笑）。

我々の業界を持続させるためには誰かが会務に携わる必要があります。体力が続く限りですが、多くの方が会務に関わっていただけるような環境づくりができればと考えています。なので、是非ゴルフにお付き合いください（笑）。

3回目の年女を迎えて

徳島県部会

田中 里佳

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

今回が3回目の年女となりました。一昨年には第1子が生まれ、40歳が目前となり、12年前とは違った気持ちで年女を迎えております。

この12年間といえば、ほとんどの期間を独身で

気ままに、外出に出てお酒を飲んだり、海外旅行に行ったりして過ごしておりました。ただ、この数年は、新型コロナウイルスの流行や子供が生まれたこともあり、日々の過ごし方も変わってきました。

最近では近場で過ごすことが増え、海外旅行の代わりに国内旅行に行くことが増えました。昨年の遠出と言えば、母の実家の函館に赴いたり、久々のディズニーランドを楽しんだりしました。また、夫の趣味である温泉旅行にも家族で行っており、私にとっては人生初の有馬温泉にも行きました。有馬温泉の金泉のような泉質は初めてで、こんな近くにこのような特徴的な温泉があるならばもっと早くに行ってみれば良かったと感じた次第です。

コロナ禍になって行動が制限されて不自由に感じる面も多いですが、温泉旅館ではそれぞれ趣向を凝らしたプランが増え、プライベート空間を大切にしている新たな旅館が出てきており、楽しみが増えています。

近場の温泉で言えば、道後温泉も本館に行ったことがあるのみですので、今度はゆっくり1泊で楽しんでみたいです。ゆくゆくは、白骨温泉や昔はよく行っていた草津温泉にも足を伸ばしてみたり、大きくなった子供と一緒に登山と温泉をセットで楽しめたらいいなと今から想像を膨らませています。

最後になりましたが、本年が四国会の皆様方にとって素晴らしい年となりますことを祈念しております。

年男の年は変化の年

香川県部会

武内 昌樹

本年、年男となりました香川県部会の武内でございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

さて、原稿依頼を受けたとき、何を書くべきか迷ったので、そろそろ人生も折り返しを迎えたということもあり、私の半生を振り返ってみたところ、年男の年には様々な「変化」があったなということに気がきましたので、少し書いてみたいと思います。

24年前、私は高知県の片田舎にいましたが、中学から高知市内の中高一貫の私立中学校に入学しました。実家が遠かったので、親元から離れ寮に入ってから生活が始まったことは大きな「変化」でした。そこで覚えさせられたのが麻雀でした。中学1年生から今まで続く私の麻雀人生が始まったのはこの年でした。

12年前、この年の3月11日の14時46分ごろ、私は東京の池袋にいました。そこで、永遠に続くような長くて不気味な揺れの中で、生まれて初めて死の恐怖を感じたことを鮮明に覚えています。その日の夜は寒く強い風が吹く中、池袋から練馬の家まで歩いて帰りましたが、この瞬間多くの人が帰るべき家を失ったということが頭をよぎり、自然と涙が溢れました。周りで歩いていた多くの人の表情も一様に同じものだったと記憶しています。この出来事は間違いなく、私の人生にも、その後の日本社会全体にも大きな「変化」をもたらしたことでした。

そして今年、私は昨年来、トーマツの高松事務所を離れ比較的新しい部署で監査の「変化」のための業務をしています。少しカッコつけた言い方をすると、「監査の未来を変える」仕事をしています。少しややこしい言い方をすると、監査手続を標準化・集中化・機械化していくことで、監査全体を高度化するというものです。とはいえ、誰もやったことのない前例のないことをする中で、試行錯誤が続く毎日です。12年後に振り返った際、今年から監査の「変化」が始まったと言える1年にできればと思います。また、私生活でも大きな「変化」があり、高松市にマイホームが完成し2月に引越しました。今年も慌ただしい1年になりそうです。

3度目の年男

香川県部会

清水 博嗣

2022年に四国会に入会し、今回「卯年を迎えて」と新入会員の自己紹介と2つ同時に原稿依頼をいただき、新入会員の自己紹介のほうも寄稿させていただいておりますので、自己紹介はそちらのほうにまかせ、こちらでは卯年を迎え、3度目の年男となることに対して思うところ等を記載させていただきます。

前回の年男の際は、当時は有限責任 あずさ監査法人大阪事務所にて勤務していましたが、大学を卒業後社会に出て2年目であり、不慣れな中懸命に仕事を覚えていかないとという段階であったと記憶しています。それとともに、近畿会所属の準会員として実務補習所に通い、公認会計士としての必要知識を学習していくという段階でした。改めて振り返ってみますと、社会人として、また

公認会計士として仕事をしていくための基礎固めの最中の1年だったと思います。

そのときから12年経ち、上記監査法人にて引き続き勤務していましたが、2022年には前の職場を退職し、現在は会計監査業務を離れ、高松市にて国家公務員として働いております。また、2013年には公認会計士登録も完了しており、現在は四国会所属の会員と、所属地域・会員種別とも前回の年男とは異なっていることから、干支が一回りする間に様々な変化があったということを実感しております。

現在の職場における仕事内容は前職と異なる部分も多く、仕事の仕方を覚えていかないといけないこと、また、公認会計士としての知識を常に最新のものとしておくため学習が必要ということは前回の年男の際と変わりありませんので、その頃同様、懸命に仕事に取り組みつつ、それにこの12年間の経験を活かすということを加えて、3度目の年男として頑張っていきたいと思います。

末筆ながら、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

新入会員の自己紹介



会員（香川県部会）

清水 博嗣

(2022.8.18 転入)

この度、新たに四国会に入会いたしました清水博嗣（しみずひろつぐ）と申します。自己紹介文を寄稿する機会を頂戴しありがとうございます。

私は兵庫県西宮市という場所で生まれ育ちまして、2010年に有限責任 あずさ監査法人の大阪事

務所に入所し、2022年6月まで勤務しておりました。2022年7月より、国税審判官として採用され、高松国税不服審判所に配属されたことに伴い高松市に引っ越すとともに、四国会に入会いたしました。

趣味はスポーツ観戦（主に野球、アメリカンフットボール）、旅行なのですが、香川県には美味しいうどんが食べられるお店が至る所にありますので、最近はどうどん屋巡りをしております。

未熟者ではございますが、仕事を通じて四国に貢献したいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

その幸せにあやかりたい

HAPPY WEDDING



準会員（香川県部会） 原田 康平

新しい年を迎え、昨年1年間を振り返ったり今年の抱負を考えたりと、毎年いろいろと思いを馳せるこの時期ではありますが、今年は例年とは違い結婚して初めての新年ということで、妻とともに初詣に行き、さらには初日の出も拝みに行くという大変にぎやかでアクティブな年越しとなりました。

今回、寄稿のご依頼をいただいた際も、個人的なプライベートのお話をするのは恥ずかしくてあまり得意ではないのでと一度はお伝えをしたのですが、せっかくの慶事ですのでぜひ！と二度目のご依頼をいただきまして、強く押されてしまうと断り切れないのも私の性格ですので、ではせっかくの機会ですし、皆様へのご報告と感謝の意味も込めて書かせていただこうかなと、ペンを執った次第です。

妻との出会いは私がまだ会計士受験生の頃でした。いつ受かるかわからない、それどころか受か

る見込みがあるのかも定かではない私を、いつも笑顔で支えてくれました。合格して就職してからも、初めての仕事に右も左もわからず疲れ果てて帰ってくる私にいつも寄り添ってくれました。

昨年7月に入籍し、二人で暮らし始めてからも、妻の些細な気遣いの数々に感謝の思いが募るばかりで、小さなことでも少しずつ恩返しをしなくてはと思い、慣れない家事も協力しながら日々頑張るようになっています。

プライベートの充実と同時に、年々任される仕事にも責任が増えてきたり、12月には終了考査も控えていたり、仕事に勉強にと今年も全力で向き合わなくてはならないことがたくさんありますので、そちらもひとつひとつ丁寧に、時には妻の力も借りながら、一歩ずつ成長していける年にできればと思っています。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

役員会だより

四国会定例役員会議事録

(2022年度第2回)

1. 日 時

2022年9月2日(金)

午後1時30分～午後3時30分

2. 場 所

四国会研修室(高松市紺屋町)

3. 出席者(23名)

(会 長) 久保誉一

(副会長) 東 圭介、矢野和弘、

真鍋恵美子、橋本 誠

(幹 事) 越智慶太、※亀川絵美子、

黒川一也、塚本秀和、

野村幸太郎、橋川浩之、

秋葉 見、※井料 愛、

※高須賀経、※別府 淳、

※森 貴弘、※孝志洋平、

※田中里佳、※斉藤 章

(監 事) ※堀川紀之、※福山 優

(顧 問) 石川千晶、吉井 修

※はオンライン参加者

4. 欠席者(1名)

池田哲也幹事

5. 陪席者(2名)

浪越敬二事務局長、香川佳美職員

6. 議 事

I 【会長挨拶】

新体制初の役員会のため、久保会長が挨拶の中で抱負を述べ、出席役員全員の自己紹介が行われた後、規定により議長となった。

司会の橋川総務・会計担当幹事から、出席者は定足数を満たしている旨の報告がなされ、久保会長が議事録署名人に越智幹事を指名し、議事に入った。

II 【審議事項】

- (1) 2023年 第57回 四国会定期総会等の開催について

久保会長より資料に基づき、2023年の定期総会は6月20日(火)にJRホテルクレメント高松で行うこと及びこれにかかる予算等の説明

があった。越智幹事のクレメント高松以外の会場についても事前検討はあったのか、などの質問に対し、久保会長から、来賓対応やハイブリッド対応などを考慮するとクレメント高松が適当との検討結果について回答がなされた。

他に質問や意見はなく、賛成多数で承認された。

- (2) 四国会ニュース新春号(第81号)の編集方針(案)について

黒川広報担当幹事より資料に基づき説明があり、賛成多数で承認された。

III 【協議事項】

- (1) 2022年度の図書配付事業について(対象書籍の検討)

橋川総務・会計担当幹事から資料に基づき説明があり、質問や意見を求めたところ、矢野副会長より、他団体では20～30冊の書籍の中から1万円以内で複数冊選択できるという制度があり、四国会もそういった配付方法を検討できないかとの意見があった。これに対し橋川総務・会計担当幹事は、今後、検討・協議する旨回答した。また、申込期限は1月末ではあるが、周知は早めに行いたいと付け加えた。

他には質問等もなく、当年度は資料のとおり進めることとなった。

IV 【報告事項】

- (1) 四国会設置委員会委員の構成について(当日追加資料配付)

久保会長から、本部委員会委員を含め資料のとおりである旨、報告がなされた。また、「四国会女性活躍推進委員会」に関して、亀川幹事に香川県部会のとりのまとめをお願いしたいということもあり、副委員長に指名した。

- (2) 普通会費ならびに地域会費の減額・免除について

久保会長から、資料に基づき5名の会員の会費減額について報告があった。

越智幹事より、どの程度の減額になるのか、またその期間中も「公認会計士」は名乗れるのか等の質問があり、久保会長より減額割合

- は50%、公認会計士を名乗ることに問題はないとの回答がなされた。
- (3) 香川大学制度説明会(2022年7月6日(水))について
真鍋副会長から資料に基づき報告があった。
- (4) 土佐中学校制度説明会(2022年7月19日(火))について
橋本副会長から資料に基づき説明があった。
- (5) 今治西高等学校制度説明会(2022年7月28日(木))について
矢野副会長から資料に基づき報告があった。制度説明会の報告のあと、橋川総務・会計担当幹事が説明会全般について、意見・質問を求めたところ、真鍋副委員長から、制度説明会やハロー！会計にも講師として女性会計士も担当させて欲しい、との発言があり、久保会長からできる限り対応していくとの回答がなされた。また、越智幹事からの、制度説明会の実施にあたっては、毎年対象となる学校を訪問するのか、2年に1回訪問するのか、戦略的な計画を立て効率的に行うのが良いのではないかとの意見に対し、会長は、役員会前段に開催された厚生委員会で、この件について、長期的な視野に立ち実施できる仕組みをつくろうと話し合ったところであると回答した。
- (6) 「公認会計士の日」記念事業について
黒川広報担当幹事から資料に基づき報告があった。
- (7) 第43回研究大会横浜大会について(2022年9月15日(木)開催)
久保会長から、コロナ感染拡大の状況に鑑み、開催方法はハイブリッド形式に変更、記念パーティー等、飲食を伴う行事は規模を縮小または中止になった等の報告があった。また、今回の変更によりキャンセル料等が発生した場合は、本部が対応する旨のコメントが加えられた。
- (8) 西日本連合総会福山大会について(2022年10月21日(金))
久保会長から、資料に基づき報告がなされるとともに、中国会設定の目標参加人員数の四国会40名に対し、現時点で23名の申し込みにとどまっている。申込締切日は本日であるが、若干の遅れは許容してもらえらると思うので、参加できる方は、交通費補助(JR相当)もあるので、ぜひ参加をお願いしたいとのコメントがあった。
- (9) 研修会実施報告および開催予定について
- 実施報告
 - ① 2022年上期監査事例研修会(全2回)(6月7日(火)、16日(木)四国会研修室+リモート)
塚本幹事から、資料に基づき報告がなされた。
 - ② 必須科目(収録動画)研修会(7月19日(火)、21日(木)四国会研修室+リモート、再配信28日(木)リモート)
塚本幹事から、資料に基づき報告がなされた。
 - 開催予定
 - ① 女性活躍推進委員会主催研修会(9月29日(木)四国会研修室+リモート)
井科幹事から、資料に基づき報告がなされた。
- (10) 本部役員会・委員会の報告について(5月～8月)
- ① 本部理事会・地域会会長会議の報告
久保会長から、資料に基づき重要事項を中心に報告がなされた。特に、理事会における「サステナビリティ教育検討PTの報告書のとりまとめの方向性」「公認会計士法及び金融商品取引法の一部変更」「茂木新会長の報告書」、地域会会長会議における「社福の規模別リストの作成」については重点的に説明があった。越智幹事から、品質管理レビューを前提としたモニタリング制度について、手塚会長声明文、本部資料、日経新聞記事の間での整合が取れていないように感ずるが、との質問があったため、会長からさらに補足説明がなされた。
 - ② 各委員会・会議の報告
資料に基づき、橋川総務・会計担当幹事から報告がなされた。
- (11) 四国会・各県部会の活動報告(5月～8月)

各副委員長からそれぞれの県部会の活動状況について、資料に基づき報告があった。

越智幹事から、「愛媛県若手公認会計士の集い」や「徳島県部会親睦BBQ」など懇親を深めることは良いことであるとのコメントがあり、また、会長からも、会員数の多い香川県部会でも実施の検討をお願いしたいとの提案がなされた。

また、塚本幹事から業務推薦の「四国中央市個別外部監査人候補者名簿登録者」とはどのようなものか、との質問があり、矢野副会長が回答した。

(12) その他

橋川総務・会計担当幹事から資料に基づき次の報告がなされた。

- ① 2022年度の役員会等行事予定
- ② 会員・準会員の異動・慶弔等（4月下旬～8月中旬）
- ③ その他

久保会長から、四国会ホームページにいろいろな情報をアップしていきたいので、ぜひ見て欲しい。また、当面は月1回程度、アップ情報をメールで発信することにしたいとのコメントがあった。

また、高知県部会の西岡啓二郎会員が8月27日亡くなったことが報告された。



四国会定例役員会議事録

(2022年度第3回)

1. 日 時

2022年12月2日(金)

午後1時30分～午後3時30分

2. 場 所

JRホテルクレメント徳島
(徳島市寺島本町)

3. 出席者 (22名)

(会 長) 久保誉一

(副会長) 東 圭介、矢野和弘、
真鍋恵美子、橋本 誠

(幹 事) ※池田哲也、※越智慶太、
※亀川絵美子、黒川一也、

橋川浩之、※野村幸太郎、
秋葉 見、井料 愛、

※別府 淳、※森 貴弘、
孝志洋平、田中里佳、斉藤 章

(監 事) ※堀川紀之、福山 優

(顧 問) 石川千晶、吉井 修

※はオンライン参加者

4. 欠席者 (2名)

塚本秀和幹事、高須賀経幹事

5. 陪席者 (2名)

浪越敬二事務局長、香川佳美職員

6. 議 事

I 【会長挨拶】

司会の橋川総務・会計担当幹事から、出席者は定足数を満たしている旨の報告がなされた後、久保会長より開会にあたっての挨拶があり、孝志幹事を議事録署名人に指名、規定により議長となり議事進行を行った。

II 【審議事項】

- (1) 第64回西日本連合総会実行委員会の設置について

久保会長から、西日本連合総会について、本年は中国会、来年は南九州会が担当し、再来年2024年度は四国会の担当で、徳島にて開催の予定である。そこで、徳島大会開催のための実行委員会を設立する旨の提案があり、資料に基づく説明がなされた。審議の結果、異議なく承認された。なお、実行委員会での検討内容等については適宜、役員会で報告する。

III 【協議事項】

- (1) 全国研修会中継会場【松山会場】の廃止について

矢野副会長から、参加者数の現状を勘案し、

松山会場の閉鎖について提案がなされ、資料に基づき説明があった。また、本部の検討課題でもあることも補足された。状況の変化による再開の可否やコロナ後の見通しなどについて意見交換を行った結果、廃止の方向で検討することを合意した。

(2) 県部会事務の簡素化(部会口座の廃止)について

久保会長から、県部会事務業務の問題点等および今後の負担軽減について説明があり、県部会で設定している銀行口座を廃止し、出納等は四国会事務局で一括して行うなどの提案がなされた。また、実務面での具体的な処理については、今後の検討課題ではあるが、県部会としての活動計画や予算は従来どおり県部会で作成し、県部会活動の制限や管理などは考えていない旨の補足があった。意見交換の結果、次年度からの移行を目指し、具体的な検討を進めていくことになった。

IV【報告事項】

(1) 四国会監事による期中監査(11月1日)の結果について

福山監事から、上期決算等について、指摘事項もなく適正に処理している旨の報告があった。

(2) 地域会会費の減免承認について

久保会長から、資料に基づき、5名の会員の会費減免申請について承認されたことの報告があった。

(3) 第43回日本公認会計士協会横浜研究大会の結果報告について

・2022年9月15日(木) (~16日(金))

橋川総務・会計担当幹事から資料に基づく報告があった。

(4) 第62回西日本連合総会福山大会の結果報告について

・2022年10月21日(金) (~22日(土))

橋川総務・会計担当から資料に基づく報告があった。

(5) 研修会実施報告及び開催予定について

・実施報告

① 女性活躍推進委員会主催【日銀高松支

店長講演会】

(9月29日(木)四国会研修室+リモート)

井料幹事から、資料に基づく報告があった。

久保会長から、女性活躍推進委員会主催の研修会は年何回開催するのかとの質問があり、井料幹事が、外部講師を招いて1回、DVD研修を1回の年2回開催している。また、研修会とは別に12月は交流会ということで県毎にランチ会を予定していると回答した。

② 租税相談員を講師とする税務事例研修会【収録動画】

(11月10日(木)四国会研修室+リモート)

塚本幹事が欠席のため、報告は省略された。

・開催予定

橋川総務・会計担当から、今後の開催予定の研修会等について、資料に基づき報告があった。

(6) 茂木会長経営方針説明会(タウンミーティング:11月28日(月))実施報告について

久保会長から参加者について謝辞が述べられた後、資料に基づき報告があった。

(7) 松山南高等学校制度説明会(10月12日(水))について

矢野副会長から、説明会開催についての先方との意見交換の状況を交え、資料に基づき報告があった。また、説明会で使用した作成資料についてスライドを見ながら追加説明がなされた。久保会長からは、四国会の他の制度説明会でも活用できればとのコメントがあった。

(8) 松山商業高等学校制度説明会(10月19日(水))について

矢野副会長から資料に基づき報告があった。

(9) 徳島商業高等学校制度説明会(10月25日(火))について

真鍋副会長から資料に基づき報告があった。

(10) 高松第一高等学校制度説明会(11月16日(水))について

黒川幹事から資料に基づき報告があった。

久保会長から、今年は皆さん頑張ってくれて多くの制度説明会を実施したが、訪問リスト等を作成し、次年度以降は計画的に実施していきたいとのコメントがあった。

(11) 実務補習所2022年期生のガイダンス、入所式・祝賀会について

(参考) 令和4年公認会計士試験合格者調
池田幹事から、受験者数や合格者数、合格率など、資料に基づき報告があった。また、高松支所では12月12日にガイダンスを実施、19日に入所式・祝賀会を開催するなどの報告があった。

(12) 本部役員会・委員会の報告について（9月～11月）

① 本部理事会・地域会会長会議の報告

久保会長から、特に本部理事会での重要事項について、資料に基づき、補足説明を加えながらの報告があった。

② 各委員会・会議の報告（出席委員）

橋川総務・経理担当幹事が、各委員会の担当幹事に資料以外の補足の有無について報告を求めたが、特段の補足はなかった。

(13) 四国会・各県部会の活動報告（9月～11月）

各副委員長からそれぞれの県部会の活動状況について、資料に基づいた報告があった。

(14) その他

① 2022年度～2023年度の役員会等行事予定
橋川総務・会計担当幹事から、今後の予

定について資料に基づく報告があった。

② 会員・準会員の異動・慶弔等（8月下旬～11月中旬）

橋川総務・会計担当幹事から、資料に基づき報告があった。

③ その他

2023年度第1回定例役員会を4月20日(木)の開催予定とした。

次回日程 第4回四国会定例役員会

2023年2月10日(金) 於：松山市

委員会だより

女性活躍推進委員会 【日銀高松支店長を囲む会】

9月29日(木)、日本銀行高松支店の高田英樹支店長をお招きし、昼食懇談会と講演会を開催しました。高松市内のフレンチレストランで昼食会を開催した後は四国会研修室へ移動し、「物価高・円安が地域経済に与える影響と今後の見通し」と題して、約1時間半にわたり高田支店長にご講演をいただきました。香川県内、県外から女性会計士10名が参加し、講演会には四国財務局女性職員3名様にもご出席いただき、良い交流の場とすることが出来ました。



昼食会



講演会



役員会・徳島県部会合同忘年会

【クリスマスランチ会】

昨年度に引き続き、今年も12月に香川・徳島・愛媛3県でのクリスマスランチ会を企画いたしました。残念ながら愛媛での開催は延期となりましたが、香川は12月14日に、徳島は12月13日に市内中心部のレストランで開催しました。参加者からはそれぞれの近況報告などがあり、食事と懇談を楽しみつつ有意義な時間とすることが出来ました。香川県会場には四国財務局の米田博文局長、松浦慈総務課長にもご参加いただき、活発な意見交換を交えつつ終始楽しい食事会となりました。



香川（2022年12月14日(水)）於：桃花苑



徳島（2022年12月13日(火)）於：キャンドゥ

準会員会四国分会だより

本年度の準会員会分会長を務めさせていただいております、原田と申します。

旧年10月9・10日、約3年ぶりとなる対面形式での準会員会全国幹事会が福岡市で開催され、四国分会からも私を含め2名が現地で参加いたしました。全国から集まった同世代の準会員たちとの交流は大変貴重な経験となりました。

今後も、会員活動を通して出会う方々との交流

を大切に、積極的に活動に励んでいく所存でございます。本年も変わらぬお引き立ての程、よろしくお願い申し上げます。

準会員会四国分会 分会長 原田康平



補習所だより

東京実務補習所高松支所では12月19日(月)、2022期生の「入所式&祝賀会」をJRホテルクレメント高松にて開催しました。

新しい補習生2名を迎え、わき合いあいと楽しい会話があふれる食事会となりました。

これからの3年間、高松補習所にて公認会計士を目指す補習生の皆様をサポートができるように尽力を尽くしたいと思います。



トピックス

公認会計士制度説明会の開催

香川、愛媛、徳島の各県において、公認会計士制度説明会を開催しました。

愛媛県では7月26日(火)今治西高校（参加：1年～3年生13名）、10月12日(水)松山南高校（参加：1年～3年生90名）、10月19日(水)松山商業高校（参加：1年生79名）、12月22日(木)松山東高校（参加：

14名)、宇和島東高校(参加:31名)、と7月以降に計5校で対面にて職業紹介講座を行いました。各学校で希望者を募っての開催でしたが、松山南高校では美術の先生が素敵なポスターを作成してくださり、その効果か当初予定の15名から90名にまで希望者が急増しました。生徒により興味を持ってもらえるよう、説明会進行も工夫を凝らしました。生徒からは概ね好評であり、今後も継続して実施出来るよう準備中です。



今治西



松山南



松山南ポスター



松山商業



宇和島東



松山東

徳島県では10月25日(火)に徳島商業高校(参加:希望者20名)、12月7日(水)には富岡東中学校(参加:79名)で制度説明会を実施しました。徳島商業高校は対面式で開催し、生徒からの関心も高く質疑応答も活発に行われました。富岡東中学校では授業の1コマとして開催しましたが、他教室からのZOOM配信でしたので、若干生徒と距離があり、活発な質疑応答は難しい状況でした。次回はぜひ対面で実施し、直接、公認会計士の声を届けたいと考えています。



富岡東中学校

香川県では11月16日(水)に高松第一高校(参加:希望者11名)で開催しました。

OBである広報担当幹事のほか、香川県部会から女性会計士1名が登壇し、体験談をお話しさせていただきました。参加人数は多くありませんが、将来の担い手育成に手ごたえを感じる職業紹介となりました。今後は2~3年に一度、など、全学年を対象にした開催としていければと考えています。



茂木会長と四国会役員の懇談会

2022年11月28日(月)午後5時半より日本公認会計士協会茂木哲也会長の経営方針説明会が開催されました。新型コロナウイルス感染症防止の観点から、会場である四国会研修室は四国会役員のみでの参加とし、会員・準会員はリモートで参加いただきました。説明会終了後には会場を移し、茂木会長を囲んでの懇談会を開催しました。



経営方針説明会

徳島県部会親睦BBQ大会

2022年10月23日(日)、小松島リゾートにて徳島県部会の親睦BBQ大会を開催しました。当日は好天に恵まれ、2時間半にかけて会員・家族間の交流ができ、大変有意義な時間となりました。また、2024年に開催を控える西日本連合総会徳島大会実行委員会の案内も出来、結束力を高める良い機会ともなりました。(参加:大人16名(会員11名含む)・小学生6名・未就学児3名)



愛媛県若手公認会計士の集い

本記事では、2022年8月に松山市内で開催された愛媛県若手公認会計士の集いについて当日の

様子や感想をお伝えします。

当日まずは、矢野県部会長からの県部会関連の年間行事についてのご説明です。

実際の年間スケジュールを把握することができ、若手同士の歓談の際には、「日程的にこの行事とこの行事には参加できそうですね」という会話が行われるなど、行事への理解・興味が深まるだけでなく、今後の行事への参加意欲も高まりました。

本説明の際に使用された資料は、矢野県部会長自ら我々若手のためにまとめて下さったそうです。

そのような次の世代へ繋いでいくという姿勢や想いを我々の世代でも受け継ぎ、また次の世代へ繋いでいくことが大切だなと感じました。

その後、森副県部会長の円滑な司会進行のもと、参加者全員による各自1分間の自己紹介が行われました。

自己紹介をキッカケに、釣りやゴルフといった趣味の話に花を咲かせ、より一層、楽しい時間を過ごすことができました。

今回、実際に参加してみて、県内の同世代の公認会計士との交流の場はとても貴重な機会だと感じましたので、今後も積極的に参加させていただきます。

最後までお読みいただきありがとうございます。

愛媛県部会 近藤敬吾



研修会実施概要(2022年7月～2023年1月)、開催予定概要(2023年2月以降)

開催年月日	2022年7月19日(火)		2022年7月21日(木)	
研修会名	必須科目研修会(収録動画)		必須科目研修会(収録動画)	
テーマ	経営者不正	企業再生の税務	倫理規則改正の検討状況について	監査提言集の解説
講師	株式会社ビズサブリ 代表取締役、 公認会計士、 公認不正検査士 辻 さちえ 氏	公認会計士、税理士 蠟山 竜利 氏	倫理委員会 副委員長 山田 雅弘 氏	監査・規律審査会 副審査会長 廣田 壽俊 氏
開催地及び会場名	四国会研修室 + Microsoft Teams		四国会研修室 + Microsoft Teams	
主催	四国会		四国会	
参加者数 (単位：人)	14	13	9	10

開催年月日	2022年7月28日(木)		2022年8月17日(水) ～8月19日(金)	2022年9月29日(木)
研修会名	【再配信】 必須科目研修会(収録動画)		【中継】 夏季全国研修会	女性活躍推進委員会 主催講演会
テーマ	倫理規則改正の検討状況について	監査提言集の解説	2021年度の品質管理レビューの結果と2022年度の品質管理レビューの方針 ほか	物価高・円安が地域経済に与える影響と今後の見通し
講師	倫理委員会 副委員長 山田 雅弘 氏	監査・規律審査会 副審査会長 廣田 壽俊 氏	品質管理委員会 主席レビューアー 松田 玲子 氏 ほか	日本銀行高松支店長 高田 英樹 氏
開催地及び会場名	Microsoft Teams		高松、松山、徳島	四国会研修室 + Microsoft Teams
主催	四国会		本部	四国会
参加者数 (単位：人)	1	1	高松1、松山16 徳島13、計30	13 (うち四国財務局3)

開催年月日	2022年10月13日(木) ～10月14日(金)	2022年11月10日(木)	2022年11月28日(月)
研修会名	【中継】秋季全国研修会	税務事例研修会(収録動画)	協会会長による 経営方針説明会
テーマ	監査の品質管理の実務(事例 解説集による改善勧告事例 の説明 ほか	法人税調査等の観点から見た 最近の気になる通達及び 税制改正について	経営方針説明及び意見交換
講師	品質管理委員会 主席レビュアー 露口 允明 氏 ほか	本部租税相談員 糸賀 定雄 氏(税理士)	日本公認会計士協会 会長 茂木 哲也 氏
開催地及び 会場名	高松、松山、徳島	四国会研修室+ Microsoft Teams	四国会研修室+ Microsoft Teams
主催	本部	四国会・税務業務分会	四国会
参加者数 (単位：人)	高松2、松山0 徳島5、計7	13	26

開催年月日	2022年12月8日(木) ～12月9日(金)	2022年12月26日(月)	2023年1月16日(月)
研修会名	【中継】冬季全国研修会	2022年度下期 会計・監査トピックス研修会 (収録動画)	【中継】新春全国研修会
テーマ	倫理規則改正及び倫理規則 実務ガイダンスについて ほか	「企業会計・監査」 「非営利法人 (学校法人を含む)」	業種別の会計不正のパター ンと監査対応(内部統制の 改善指導含む) ほか
講師	倫理担当常務理事 西田 俊之 氏 ほか	日本公認会計士協会 副会長 小倉 加奈子 氏 ほか 非営利法人委員会 委員長 菅田 裕之 氏	公認会計士 安福 健也 氏
開催地及び 会場名	高松、松山、徳島	四国会研修室+ Microsoft Teams	高松、松山、徳島
主催	本部	四国会	本部
参加者数 (単位：人)	高松4、松山1 徳島9、計14	28	7

開催年月日	2023年2月1日(水) ～2月3日(金)	2023年2月6日(月)	2023年2月17日(金)
研修会名	【中継】春季全国研修会	税務研修会	TPM研修会
テーマ	監査基準報告書600 「グループ監査における特別な考慮事項」の解説 ほか	「国税不服審判所の概要」 「最近の公表裁決事例」	TOKYO PRO Market と 会計士の関わり(仮)
講師	監査・保証基準委員会 グループ監査起草委員長 五十嵐 勝彦 氏	高松国税不服審判所長 小坂井 博 氏 国税審判官(特定任期付) 清水 博嗣 氏	組織内会計士協議会ネット ワークサポート専門委員会 委員 宝印刷(株) 執行役員 鎌田 浩嗣 氏
開催地及び会場名	高松、松山、徳島	四国会研修室 + Microsoft Teams	四国会研修室
主催	本部	四国会・ 税務業務部四国分会	四国会

開催年月日	2023年2月20日(月)		2023年3月6日(月)	2023年3月20日(月)
研修会名	会計研修会		中小監査事務所 連絡協議会研修会	四国財務局長講話
テーマ	会計不正事例に学ぶ・不正の発生要因、不正の端緒と着眼点	最近の会計基準の 検討状況と非財務 情報開示の充実について	「中小監査事務所を取り巻く監査環境の変化と倫理規則の改正について」 「監査事務所検査結果事例集の公表について」	「地域経済・金融(仮)」
講師	合同会社会計・監査リサーチセンター 代表社員 布施 伸章 氏		中小事務所支援担当 常務理事 吉村 智明 氏 公認会計士・ 監査審査会 会長 松井 隆幸 氏 公認会計士監査検査官	四国財務局 局長 米田 博文 氏
開催地及び会場名	TKP松山市駅前カンファレンスセンター		中国会事務局+ リモート	四国会研修室
主催	四国会・愛媛県部会		四国会・中国会 【合同】	四国会・香川県部会

2023年 四国会行事予定

(2022年12月末現在)

月	役員会等	研 修	そ の 他
1月		16(月) 新春全国研修会【中継】 (高松、松山、徳島)	下旬 四国会ニュース新春号(第81号)の発送
2月	10(金) 2022年度 第4回定例役員会 (松山) 2022年度 第3回厚生委員会 (松山)	1(木)～3(金) 春季全国研修会【中継】 (高松、松山、徳島) 6(月) 税務業務部会四国分会共催 税務研修会 (四国会研修室+リモート) 17(金) TPM研修会(四国会研修室) 20(月) 愛媛県部会 会計研修会(松山)	4(土) 愛光学園制度説明会 9(木) 高松商業高校制度説明会 10(金) 四国会役員・愛媛県部会合同 新年会(松山) 11(土) CPA四国会新年親睦ゴルフ コンペ (松山シーサイドカントリー)
3月		6(月) 中小監査事務所連絡協議会研 修会【中国会合同】※リモート 未定 必須科目研修会 (四国会研修室+リモート) 未定 女性活躍推進委員会主催 DVD研修会 (四国会研修室+リモート)	4(土)～5(日) 「お仕事フェスタ2023」(松山) 20(月) 香川県部会懇談会 【講演+懇親会】
4月	4(火) 第1回徳島連合総会実行委員会 (徳島) 20(木) 2023年度 第1回厚生委員会 (高松) 2023年度 第1回定例役員会 (高松)		未定 決算監事監査
5月			
6月	20(火) 第57回定期総会(高松)		
7月	26(木) 本部定期総会		6(木) 「公認会計士の日」新聞広告

(注) 行事予定は、2022年12月末現在のものであり、その後の変更又は追加(主として研修)されることがありますので、ご注意ください。なお、研修について、テーマ等希望があれば、何時でも事務局へご連絡ください。

寄贈等新刊図書一覧

(2022年7月～12月)

図 書 名	著者・編集者	発 行 所	寄 贈 者	寄贈年月
第53回中日本五会研究大会 Independence	日本公認会計士協会 近畿会	日本公認会計士協会 近畿会東海会・ 北陸会・京滋会・ 兵庫会	日本公認会計士協会 近畿会	2022.7
新日本法規財団 奨励賞受賞論稿集 (2021年度第11回)	一般財団法人 新日本法規財団	新日本法規出版 株式会社	一般財団法人 新日本法規財団	2022.8
土地家屋調査士会白書2022	日本土地家屋調査士会 連合会	日本加除出版 株式会社	香川県土地家屋 調査士会	2022.8
四半期報告書作成の手引き (2022年第2・第3四半期版) 四半期連結財務諸表を 作成している会社用	ディスクロージャー 実務研究会 株式会社プロネクサス	同左	株式会社 プロネクサス 相談部芦川	2022.9
四半期報告書作成の手引き (2022年第2・第3四半期版) 四半期連結財務諸表を 作成していない会社用	ディスクロージャー 実務研究会 株式会社プロネクサス	同左	株式会社 プロネクサス 相談部芦川	2022.9
監査実務ハンドブック2023年版	日本公認会計士協会	日本公認会計士協会 出版局	日本公認会計士 協会会長	2022.10

会員の状況

(主たる事務所基準)

(2022年12月31日現在)

県別	会 員		準会員			合 計
	公認会計士	監査法人	一号準会員	二号準会員	四号準会員	
香川県	120	0	1	1	15	137
愛媛県	72	4	0	0	6	82
徳島県	34	1	0	0	2	37
高知県	24	0	0	0	1	25
合 計	250	5	1	1	24	281

(参考) 西日本ブロック及び全国会員数

(2022年12月31日現在)

地域会	会 員				準会員						合 計
	公認 会計士	外国 公認 会計士	監査 法人	計	一号 準会員	二号 準会員	三号 準会員	四号 準会員	五号 準会員	計	
中 国	506	0	5	511	1	8	0	68	-	77	588
四 国	250	0	5	255	1	1	0	24	-	26	281
北部九州	867	0	7	874	0	13	0	135	-	148	1,022
南九州	230	0	3	233	0	3	0	17	-	20	253
沖 縄	95	0	1	96	0	2	0	5	-	7	103
-	-	-	-	-	-	-	-	-	180	180	180
全 国	34,387	2	281	34,670	75	504	1	5,901	180	6,661	41,331

- (注) 1.一号準会員は、公認会計士及び外国公認会計士となる資格を有する者
 2.二号準会員は、会計士補
 3.三号準会員は、会計士補となる資格を有する者
 4.四号準会員は、公認会計士試験に合格した者(一号準会員に該当する者を除く。)
 5.五号準会員は、特定社員(地域会には所属しない。)

◎慶 弔 (2022年7月～)

● ご結婚おめでとうございます

原田 康平 準会員(香川県部会) 2022年7月7日

● ご出産おめでとうございます

長船 裕樹 会 員(香川県部会) 2022年9月5日 ご令息

● お見舞申し上げます

原田 満範 会 員(愛媛県部会) 療養入院

● お悔やみ申し上げます

森 貴弘 会 員(愛媛県部会) のご尊父 2022年9月25日 ご逝去

橋 詰和寛 会 員(高知県部会) のご尊父 2022年10月23日 ご逝去

國村 年 会 員(香川県部会) のご尊父 2022年11月12日 ご逝去



会 員 西岡啓二郎 先生(高知県部会)は2022年8月27日享年75歳で
ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

会 員 竹田 茂敏 先生(愛媛県部会)は2022年11月9日享年91歳で
ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

◇お知らせ◇ ご結婚またはご出産されますと申請により祝金が支給されます。

詳しくは、四国会事務局までお問合せください。(TEL:087-826-7628)

「四国会ニュース」には、個人情報の一部含まれていますので、保存・廃棄について十分ご注意ください。

異動一覧

(2022年7月~12月)

所属	氏名	異動年月日	異動内容
【入会】 (会員)			
香川県部会	綾田 達二	2022.7.27	近畿会より転入(EY新日本(有)監高松事務所)
〃	清水 博嗣	2022.8.18	近畿会より転入(清水博嗣公認会計士事務所)
〃	山本 想	2022.9.27	東京会より転入(EY新日本(有)監高松事務所)
〃	日高 義晶	2022.12.6	東京会より転入(日高義晶公認会計士事務所)
愛媛県部会	三好 太介	2022.8.9	近畿会より転入(三好太介公認会計士事務所)
〃	丸木 章道	2022.10.25	東京会より転入(丸木公認会計士事務所)
高知県部会 (準会員)	六本木 浩嗣	2022.10.11	東京会より転入(公認会計士六本木浩嗣事務所)
香川県部会	山崎 洸輝	2022.8.8	近畿会より転入(有)監トーマツ高松事務所)
【異動】 (会員)			
香川県部会	千住 彰昌	2022.7.22	準会員(香川県部会)から会員へ
〃	上高 貴弘	2022.7.22	準会員(香川県部会)から会員へ
〃	大西 真圭	2022.8.24	準会員(香川県部会)から会員へ
〃	増田 弘輝	2022.9.21	準会員(香川県部会)から会員へ
〃	本田 雅俊	2022.9.21	準会員(香川県部会)から会員へ
愛媛県部会	脇 将勝	2022.9.21	準会員(愛媛県部会)から会員へ
〃	寶 榮智弘	2022.11.9	地区異動(香川県部会より)
高知県部会	竹之内 啓	2022.7.27	地区異動(愛媛県部会より)
【退会】 (会員)			
香川県部会	奥田 晋介	2022.8.18	東京会へ転出
〃	黒木 孝幸	2022.8.18	東北会へ転出
愛媛県部会	竹田 茂敏	2022.11.9	死亡
高知県部会 (準会員)	西岡 啓二郎	2022.8.27	死亡
香川県部会	木内 大輔	2022.9.15	退会
【住所変更】 (監査法人)			
愛媛県部会 (会員)	えひめ(有)監	2022.9.25	事務所移転
香川県部会	金森 聡	2022.8.9	事務所変更
〃	平野 幸代	2022.8.18	事務所変更
〃	宮下 拓也	2022.8.26	自宅変更
愛媛県部会	近藤 敬吾	2022.8.26	自宅変更
〃	桜内 文城	2022.11.24	事務所変更
〃	別府 淳	2022.12.6	事務所・自宅変更
高知県部会 (準会員)	眞木 雄太	2022.12.23	事務所・自宅変更
香川県部会	原田 康平	2022.8.2	自宅変更
〃	樋口 明夫	2022.9.1	自宅変更
〃	原 正道	2022.9.8	自宅変更
〃	伊勢 友保	2022.10.7	事務所変更
〃	小山 准	2022.10.24	自宅変更

★「法定監査業務への従事状況」の報告について★

■報告義務

「法定監査業務に従事する会員に該当するか否か」を継続的専門研修制度協議会に報告していただくことになります。(報告期限：当該事業年度終了後の**4月15日**まで)

なお、報告がない場合は、法定監査に従事する会員に該当するとみなされます。

注)① 当該事業年度に少しでも法定監査業務(審理業務及び委託審査業務を含む)に従事した場合は、従事する会員に該当します。

② 年度の途中で業務従事状況が変わった場合は、修正のため再度報告してください。

③ CPEの**研修免除を申請し、承認された会員は、当報告は不要**です。

■法定監査業務に従事すると回答された会員等の必須科目

法定監査業務に従事すると回答された会員及び報告がなく法定監査業務に従事する会員に該当するとみなされる会員は、**研修科目「監査の品質及び不正リスク対応」6単位(うち2単位は、不正事例研究に該当する研修とする)の履修及び申告が必須**となり、前記単位を取得できなかった場合は、**CPE義務不履行**となり措置の対象となります。

○電子申告会員の報告方法

当該事業年度の4月16日以降、初めてCPEオンラインにログインされた時に表示される画面から報告してください。上記報告後の修正登録は、CPEオンライン(<http://cpe.jicpa.or.jp/>)にアクセスいただき、ログイン後表示される下記画面の「法定監査従事の変更」から報告してください。(翌事業年度の4月15日まで修正登録が可能です)



○FAX申告会員の報告方法

次ページの「法定監査従事状況報告書」をコピーしていただき、下記項目を記入・押印の上、FAXで送信してください。

〈記入事項〉

記入日・氏名・研修登録番号・電話番号・FAX番号・従事状況のチェックマーク

FAX送信先：03-6867-0984 (FAX申告書送信先と同じです)

年 月 日

日本公認会計士協会
継続的専門研修制度協議会 御中

氏 名 _____ 印

研修登録番号 _____

電話番号 _____

FAX 番号 _____

法定監査従事状況報告書

2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の法定監査従事状況を下記のとおり報告いたします。

- 法定監査業務に従事する会員に該当する
- 法定監査業務に従事する会員に該当しない

※上記いずれかに☑をしてください。

※「該当する」場合、研修科目「監査の品質及び不正リスク対応」6単位（うち2単位以上は、不正事例研究に該当する研修とする）の履修及び申告が必須となります。

※年度の途中で業務従事状況が変わった場合、当報告書を用いて再度報告してください。

提出先：【FAX】03-6867-0984

【郵 送】〒102-8264 東京都千代田区九段南4-4-1

日本公認会計士協会 継続的専門研修制度協議会

履修結果を申告しましょう

— CPE義務達成に向けて —

☑ 申告漏れはありませんか？

2022年4月1日から履修したもので、申告がお済みでないものはありませんか？

☑ 必要な単位数に到達していますか？

次のいずれをも満たす単位数以上を履修し申告する必要があります。

1. 当該事業年度を含む直前3事業年度合計 120単位
2. 当該事業年度最低 20単位
3. 当該事業年度の必須単位数

☑ 必須単位数は履修・申告しましたか？

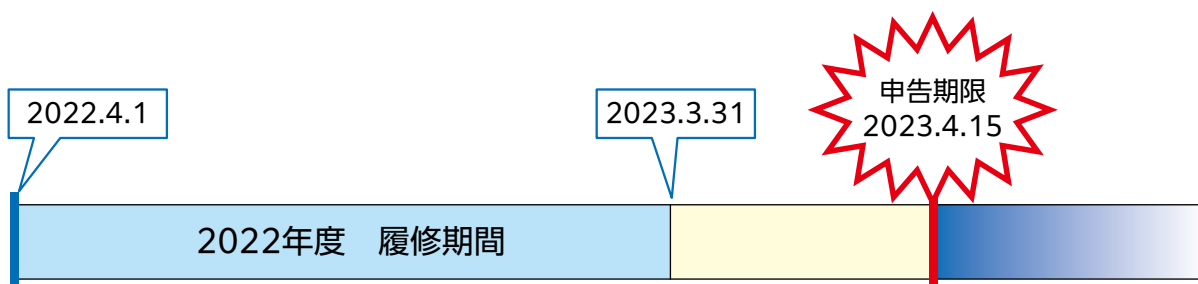
必要な単位数として、次の必須単位数を履修し申告しなければなりません。

- ・全会員（免除の承認を受けた会員を除く）……………「職業倫理」 2単位
「税 務」 2単位

加えて


- ・法定監査業務に従事する会員……………「監査の品質及び不正リスク対応」 6単位
(うち2単位以上は不正事例研究に該当する研修とする。)

2022年4月1日から2023年3月31日までの履修結果のうち、申告がお済みでないものについては、2023年4月15日までに申告してください。




! ご注意ください

※eラーニング、教材での受講については、2023年3月31日までに受講が完了したものが履修結果として反映されます。2023年4月1日以降受講したのものについては2023年度の履修結果に反映されますのでご注意ください。



あ と が き

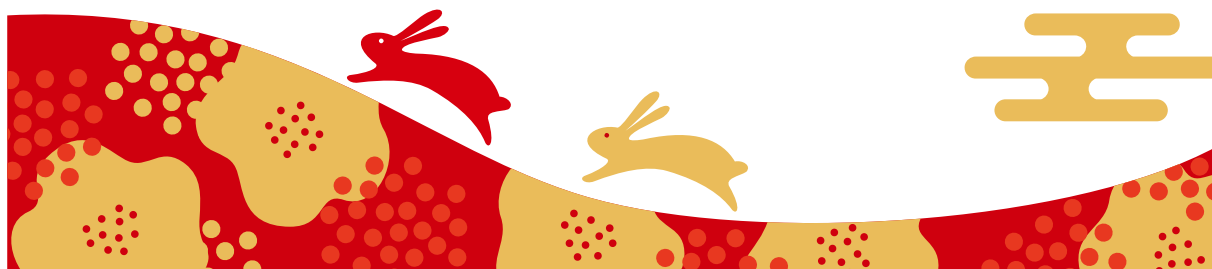


先日、公認会計士制度説明会開催のため、卒業して以降初めて母校の高校を訪問しました。建て替わったばかりの校舎には当時の面影はほとんどありませんでしたが、学生の活気ある姿は変わっていませんでした。説明を聞く学生たちの眼差しは真剣そのもので、公認会計士の仕事内容や合格のために取るべき進路についてなど、説明会が終わった後も何人も残って熱心に質問してくれていました。アンケートでは、それまでは名前ぐらいしか知らなかったが目指してみたいと思ったという回答も多くありました。少しでも多くの優秀な人材に公認会計士を目指してもらうために、制度説明会のような活動の重要性をますます感じました。

制度説明会に力を入れているのは全国どの地域会でも共通らしく、12月に参加した全国広報推進協議会の会議でも、制度説明会での投影資料やYOUTUBEコンテンツのブラッシュアップが議論され、より活用しやすいコンテンツの開発を進めていくそうです。今後も皆様のご協力をいただきながら説明会を開催していきたいと思っておりますので、宜しく願いいたします。



(広報担当幹事 黒川 一也)



発行者：日本公認会計士協会四国会 発行人：久保誉一 編集人：黒川一也
〒760-0027 高松市紺屋町1番地3 香川紺屋町ビル6階
TEL.087(826)7628 FAX.087(826)7629
e-mail：shikoku@sec.jicpa.or.jp

第44回研究大会 研究発表の募集について

〈メインテーマ〉多様性に挑む公認会計士～期待と信頼を胸に

〈開催日〉2023年9月8日(金)

〈会場〉ロイトン札幌 (札幌市中央区北1条西11丁目)

第44回研究大会は、北海道会の主催により、札幌にて開催させていただきます。

第41回研究大会2020の開催地に決定し、開催に向けて準備を進めていたところに、新型コロナウイルスの感染が拡大し、人々の移動が大きく制限される事態となったことから、やむを得ず札幌大会としては中止し、東京からのオンライン開催となりました。

北海道会としては再チャレンジとなります。

地球温暖化が原因といわれる気候変動が世界的に問題となる中、国連が「持続可能な開発目標(SDGs)」を掲げるなど、地球環境を保持しながら人類が平等に発展していく方法が問われる時代となりました。その一環として、各国で二酸化炭素排出量などの非財務情報の開示義務化が拡がりを見せ、合わせて当該非財務情報の信頼性を確保するために公認会計士の監査の知見を活用しようという動きが出てきております。

会計監査の独占資格として位置付けられている公認会計士ですが、その業務分野は年々拡大し、会計監査以外の分野で活躍する公認会計士が非常に多くなってきています。また、会計監査の分野においてもAIの活用や新型コロナウイルスの流行に対応したりモート機器の活用など、その手法も大きく変化してきております。

このように、我々公認会計士は「多様性」への対応が求められる環境に置かれております。その基礎にあるのは、社会からの我々に対する「期待と信頼」に他なりません。我々はそのことを胸に刻みながら、常に多様性に挑戦し続ける姿勢が必要ではないでしょうか。

今研究大会では、社会の期待と信頼に応えるために多様性に挑んでいく方法について皆様と共に学ぶ機会にしたいと考えております。

研究発表募集要領

1. 応募資格

会員・準会員及び一般有志

2. 募集テーマ

原則として、メインテーマ「多様性に挑む公認会計士～期待と信頼を胸に」に関連するテーマとします。

3. 募集内容

(1) テーマ及び発表者(パネリスト)の募集

① 研究論文による発表

日頃の研究内容を論文にまとめて、研究大会当日、発表していただきます。ご応募いただく際は、MS Wordソフトウェアを利用して次のとおり論文を作成し、選考結果の送付先となる住所を明記の上、電子データをメールに添付してお送りください。

- A4判10頁以内(目次、図表等全てを含みます)

※採用となった方には、当日掲示・配付用のスライド資料(MS PowerPointソフトウェア利用)を後日ご提出いただきます。

- 1頁の設定 40字38行(フォントサイズは本文11ポイント)

※なお、研究論文については会員からの推薦も選考の対象とします。応募の際は、推薦する研究論文(テーマ)及び発表方法に発表者の住所・氏名・職業・電話番号、発表者の同意を得ている旨を明記の上、お送りください。

② パネルディスカッション形式による発表

研究内容をスライド資料としてご用意いただき、研究大会当日、その内容についてパネリスト間でディスカッションを行っていただきます。ご応募いただく際は、MS Wordソ

フトウェアを利用して次のとおりパネルディスカッションの企画書（テーマ・発表の趣旨、目的・内容の概要・パネルディスカッション形式とした理由・パネリストの略歴を記載）を作成し、選考結果の送付先となる住所を明記の上、電子データをメールに添付してお送りください。

- A4判5頁程度
※採用となった方には、当日掲示・配付用のスライド資料（MS PowerPointソフトウェア利用）を後日ご提出いただきます。
- 人数はパネリスト及びコーディネーター含め5名以内（厳守）

(2) テーマの募集 ～フリーディスカッション形式による発表

公認会計士制度、業務に関係し、日頃関心を持っている内容で大会参加者と意見交換してみたいと考えるテーマについてのご提案を募集します。ご応募いただく際は、テーマ（例えば「公認会計士制度のあり方」など）及びテーマ選定の趣旨、目的を作成いただき、発表者として希望する者のリストを添えてお送りください。

継続的専門研修制度協議会において、テーマに合ったコーディネーター等発表者を選定します。

※ご応募いただく際は、発表テーマ及び発表方法を明記の上、住所・氏名・職業・電話番号を記載の上、ご応募ください。

4. 応募及び推薦締切日

2023年2月28日(火) (必着)

5. 選考

継続的専門研修制度協議会において、研究発表のテーマとしてふさわしいか否かを基準として審査・決定します。

また、発表方法（研究論文、パネルディスカッション形式、フリーディスカッション形式）が偏らないように考慮し選考いたします。

ご送付された原稿等は返却いたしませんのでご注意ください。

6. 発表予定テーマ数

今大会（第44回研究大会）では、10テーマの発表を予定しており、うち2テーマは、研究大会開催地域会である北海道会に割り当てる予定です。

また、学術賞受賞作品の中で研究発表テーマとしてふさわしいものがあれば、10テーマの中に含めることも検討します。

7. 研究発表の決定

2023年4月末を目処に、応募された方に選考結果をご連絡します。

なお、選考経緯等は公表しませんので、あらかじめご了承の上ご応募ください。

8. 送付先及び問合せ先

〒102-8264 東京都千代田区九段南4-4-1
日本公認会計士協会
会務運営戦略本部研修グループ
TEL：03-3515-1126（直通）
E-Mail kenkyutakai@sec.jicpa.or.jp

（企画運営）継続的専門研修制度協議会・
北海道会研究大会実行委員会

〈参考〉前回の研究発表テーマ一覧(第43回研究大会)
前回メインテーマ：公認会計士に期待される役割と業務
～変化し続ける社会に向けて～

【研究発表①】

テーマ1	【パネルディスカッション】 Game Changeの時代にこそ、公認会計士の強みを社外役員として活かす！ ～Are we ready to change the world?～
テーマ2	【パネルディスカッション】 税務行政のDX化推進への公認会計士の貢献の可能性～監査DXのノウハウを税務行政の効率化・高度化に如何に活用できるか～
テーマ3	【パネルディスカッション】 倫理規則の改正とこれからの公認会計士の職業倫理の在り方について
テーマ4	【パネルディスカッション】 経営分析で企業実態を把握し、VUCA時代の企業成長を促す
テーマ5	【論文発表】 人的資本の会計 ― 認識・測定・開示 ―

【研究発表②】

テーマ6	【パネルディスカッション】 アフターコロナ時代における社会福祉法人の諸課題と公認会計士の役割について
テーマ7	【パネルディスカッション】 学校法人のガバナンス強化に向けて公認会計士及び監査に期待される役割の考察
テーマ8	【パネルディスカッション】 サステナビリティ関連情報開示によるコーポレートガバナンス改革の課題 ― 変化し続ける経済社会において 公認会計士に期待される役割と業務 ―
テーマ9	【パネルディスカッション】 スポーツアカウンティングと公認会計士の貢献
テーマ10	【論文発表】 相続時における不動産の評価、財産評価基本通達と総則6項

多様性に挑む 公認会計士 、期待と信頼を胸に

第44回 日本公認会計士協会 研究大会

札幌大会2023

開催日 2023年9月8日(金)

会場 ロイトン札幌 (札幌市中央区北1条西11丁目)

■お問合せ

日本公認会計士協会 会務運営戦略本部研修グループ TEL.03-3515-1126
日本公認会計士協会 北海道会 TEL.011-221-6622

■企画運営

継続的専門研修制度協議会
北海道会研究大会実行委員会



©2010 熊本県くまモン#K34781

日本公認会計士協会
第63回
西日本連合総会
熊本大会

2023年10月20日(金)

[会場] ホテル日航熊本

熊本市中央区上通町2-1 TEL:096-211-1111



日本公認会計士協会 南九州会

TEL:096-352-3737 FAX:096-352-3700